

Vol.23 No.1

広島修道大学図書館

Library News

ライブラリーニュース

●特集

新入生に 薦める1冊

Contents

- 2 巻頭エッセイ
図書館にようこそ
.....豊田 博昭
- 3 リレーエッセイ(76)
読書嫌いの悩み
.....松本 要
- 4 特集
新入生に薦める1冊
- 6 図書館に行こう!
ー図書館おすすめスポットー
- 7 Library Information
展示コーナーについて 他
- 8 こんな本がやってきました(No.37)
『ビジュアル教養大事典』



図書館によろこそ

図書館長
豊田
博昭



幸せな図書館!

入学おめでとうございます。新入生のみなさんが図書館を大いに利用して、充実した大学生活がスタートできるよう、図書館スタッフを代表して若干の期待や要望などを述べてみます。

みなさんは、いままで学校や地域の図書館とどんな付き合いをしてこられましたか。大学の図書館は、高校までのそれとは規模も蔵書数も格段に異なり、利用できる学習施設も結構すごいという印象をもたれるのではないかと思います。本学図書館の施設案内はホームページに譲るとして、大学の勉強と図書館の利用はいわば車の両輪の関係にあり、このすばらしい学習環境の積極的活用がみなさんの勉強を応援することになるはず。中国・西南政法大学（重慶市）からの留学生・王君に、日中図書館比較を頼みました。彼曰く、パソコンの無料使用、書庫内文献の多さ、文献検索の容易さ、障害者への配慮、学習用個室、DVD機器、スタッフの親切度など、修大図書館は母校の図書館よりもすばらしい。しかし、母校の図書館は終日、一年を通じて利用者が満杯、午前10時となると席の確保は難しい、その意味で幸せな図書館であるが、修大図書館ではそれが試験期間中だけであり、これでは図書館は悲しい、と。この指摘は大変悔しい。みなさんが一年を通じて図書館をフルに利用されるように願っています。

図書館の上手な活用術

まずは空き時間を見つけて、図書館の探検から始めましょう。書棚はきちんと整理され（他大学に比べてこれもすごいことです）、興味を引くタイトルの図書もあるはずです。多くの分野の図書や雑誌が配架されています。新聞やポピュラーな雑誌まであります。実際にそれらを読んでみましょう。図書館でゆったりとした時間を過ごす経験が増える毎に、図書館の利用方法も広がっていくはずです。

図書館蔵書や資料の利用方法は、やはり図書館ガイダンスに参加して知るのがベストです。もちろん、講義担当の先生方にも、参照すべき文献やその所在・探索方法について直接お尋ねになればよいでしょうし、ガイダンス不参加者の質問や相談にも図書館スタッフは親切に対応しています。一般的に大学の講義内容は、学部・専門分野・担当の先生によってそれぞれ異なり、教科書指定の授業もあれば、教科書なしの授業もあります。たとえば、わたしが担当します法学部の授業「法律基礎

B（民事裁判のしくみ）」では、地方裁判所の最近の民事事件の判決を用いて、民事裁判の基本的構造について学習します。適当な教科書がないため、実際の判決文の抜粋を読みます。取り上げる認知症老人の土地売買や大学生の交通事故責任の事件となりますと、民法や民事訴訟法の代表的教科書の内容が講義のベースになります。こうした授業では、図書館資料は、判例で問題になった点を自分で確認・補充したり、さらにそれを発展させる場面で活躍します。同様の先例についても、判例集で読むことができます。芋づるのように勉強の範囲が拡大・深化します。

なお、文献検索で最近ではコンピュータが主役になっています。ひとつ注意すべきは、ネットに出てくる文献中の当該見解の主張者は誰か、どの文献に掲載されているのかを必ず確認・引用する必要があります。匿名の見解は、学問の世界では通用しません。

「雰囲気をつくるもこわすもあなた次第」

これは、本学図書館の昨秋・マナーアップキャンペーンの優秀賞に輝いた標語であり、図書館内の各所でみかけます。図書館利用は、他の利用者の学習を妨げないように配慮することが大原則です。したがって、ケータイの利用は最たる妨害行為で、NGです。標語や禁止掲示にあるからではなく、図書館の基本ルールを厳に守ることは学生の本分に基づくものといえます。どうかよろしくご理解ください。

他方で、複数の仲間で共同学習のできるスペースとして、1Fのラーニング・コモンズと3Fのグループ学習室が用意されています。図書館内での「対話」という考え方があり（昨夏の私大図書館協会研究会で、大谷大学・鷲田先生のご講演で知りました）、いま全国の大学の図書館でいろいろな形で広がっている試みです（ただし、鷲田説はもっとラディカルかな）。本学図書館も率先してこれを導入しています。わたくしも、ラーニング・コモンズでの共同学習を経て報告をするように、ゼミ生に要請しています。若いみなさんのいろいろな工夫が期待されます。

良きライブラリー・ライフを!

ブックハンティングやビブリオバトルなど、図書館もいろんな企画でみなさんの来館を待っています。若干の期待や注文を申し上げます。図書館でお会いしましょう!

（トヨダ ヒロアキ 法学部教授）

読書嫌いの悩み

松本 要

今回リレーエッセイの原稿執筆を頼まれて、気安く引き受けたが、直ぐに後悔した。

それは、前回執筆者のタイトルが「読書好きの悩み」だったからだ。私は子どもの頃から読書らしい読書は殆どしてこなかったし、高校、大学生の時には図書館に行った記憶がない。そんな私が最初に配属された部署が図書館で、9年間勤務したが、その間も本を読んでいるとは言えない。図書館員で読書嫌いの人がいるの?と思われる方がいるかもしれないが、図書館員の仕事は本を読む事が仕事ではないので、そういう人間もいるのだと思ってほしい。

ただ、図書館に勤務して、本に対して少し見方が変わった。世の中には多くの本が出版されていること、また、新聞や雑誌に書評が掲載されており、選書において、重要なツールとなっていることを知った。書評を読むというのは、読書が苦手な私にとって気があまり進まない仕事だったが、良い勉強になった。書評にはその本の肝となることが書いてあり、概略がつかめる。図書館の本なので、いい加減な気持ちで選書はしなかった。文意を読み取る努力をし、これだと思う本を選書した。といっても、書評家のレビュー(評論)に影響されるし、個人の主観も入るので、選書の判断が適切にできたかどうかは、正直分からなかった。選書された本を借りて読んでみたことのあるが、想像通りの本

もあれば、内容が難しすぎて興味が持てなくなり、途中で読むのを止めた本もあった。

それから25年。他部署を転々とした私は図書館に再配属され、その様変わりに驚いたが、レビューを読んでの選書の仕方は、今も変わっていない。実は図書館に戻って、昔と同じように選書の仕事もしているが、以前の図書館における選書に対する考え方とは違ってきている。私は音楽が好きでCD(以前はレコード)を収集しているが、収集に際してそのCDのレビューが、あてになる事もあるし、ならない事もある。音楽と本は違うという人もいるかもしれない。音楽は耳で聴いて感性で感じ取るものという意味では、確かに本とは違うと思う。本は読解力、想像力が必要で書き手が何を言おうとしているかを読み取らなければならない。しかし、音楽においても理解を深めようとすれば、歌詞の意味を考えたり、その曲のコード(和声)進行を楽譜で確認したり、関連の書物を読んだりする必要があると思う。

学生時代ロック少年だった私は、先輩に薦められてジャズのレコードも購入したが、その演奏はさっぱり分からなかった。特にアドリブの演奏に耳がついていけなかった。ところが、いろんなジャンルの音楽を聴いたり、実際にジャズのセッションに参加したり、音楽の本を読んだりするうちに、以前分からなかった音楽の仕組みが少しは理

解できて来たような気がしている。最近レビューで良いことが書いてあってもなくても、自分の耳の方を信じている。

読書も同様に自分の興味を引く、いろいろな本にあたって読書量を少しずつ増やしていけば良いと思う。ただ、いきなりの背伸びは良くないとも思っている。その本がどんなに優れた本であっても、読者の理解力が追いついていかなければ、その人にとって役に立たないし、興味もわからないからだ。聴き手と演奏者、読み手と書き手の関係において、その価値(その人にとって有益なこと)を決めるのは、その時点における聴き手、読み手でしかない、と思う。

しかし、一方で私はどんなにつまらないと思ったCDでも捨てはしない。時が過ぎたとき、そのCDの価値を見出す場合があるからだ。同様に、読むのを途中で止めた本でも、将来、読み返して役立つことがあるかもしれない。図書館の蔵書になって1回も読まれていない本があるとしても、その本もいつか読みたいと思う人が現れるだろう。そういう風に考え、選書をするようになって、少し気が楽になった。本から価値を見出し、自分の知性を高めていくのは、読み手しだいと思う。

(マツモト カナメ 情報サービス係)



新入生に薦める1冊

学長・各学部長の先生方に新入生に薦める1冊を紹介していただきました。今回、先生方に紹介していただいた本は、現在、図書館2階の展示コーナーにありますので、ぜひ読んでみてください。



所 在：3階新書・文庫
請求記号：080/C
(中公新書 2282)

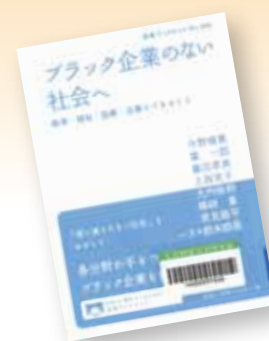
増田寛也 編著

『地方消滅—東京—極集中が招く人口急減』
中央公論新社 2014

2040年には若年女性（20～39歳）人口が半減するというデータは衝撃的。今までは日本の人口は2050年には9708万人、2100年には4959万人となるという先々のデータが、人口減少を議論される時には出ていたからである。若年女性に焦点をあて、市区町村ごとにその人口減少率を示したことも、人口減少問題が身近になったのではないのか。みなさんに、生まれた市区町の若年女性数がどうなると予想されているのか、読んで欲しい。卒業後、どこに住み、どこで働きますか。2040年と言えば、新入生諸君が40歳を少し過ぎた頃である。



学長
市川 太一

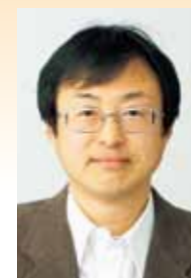


所 在：2階白書・文庫
請求記号：080/I95
(岩波ブックレット 905)

今野晴貴[ほか] 著

『ブラック企業のない社会へ：教育・福祉・医療・企業にできること』
岩波書店 2014

タイトルにある「ブラック企業」は、流行語大賞にもなり社会の関心を集め、国会での質疑を通じて厚生労働省も取締りに乗り出すことになりました。働く労働者を保護しているはずの労働法の規制を簡単に無視し、労働者の肉体・精神そして命までもむしばんでいく危険な存在、これが「ブラック企業」です。この本は、副題に「教育・福祉・医療・企業にできること」とあり、労働界に限らず社会のあらゆる場面で「ブラック企業」を認識すべきことが強調されています。学生のみなさんは、大内裕和さんの「ブラックバイト」についての記述から読んでみるとよいでしょう。



法学部長
矢部 恒夫



所 在：3階一般図書
請求記号：673.9/Sc8

ハワード・シュルツ、ジョアンヌ・ゴードン 著
『スターバックス再生物語 つながりを育む経営』
徳間書店 2011

スターバックスといえば皆さんよく利用すると思いますが、スターバックスといえども常に成長していたわけではなく、存亡の危機に陥ったこともありました。そこからどのように立ち直ったかについて、まさに物語のようにトップが語っている本です。企業はライバルが次々と現れ、その競争に勝つためにどのような努力をしているのか、ブランドを維持するには何が大切なのか、トップが危機的な状況下で従業員に何を語るのか、どのような戦略を立てたのかなど興味深い話の連続です。この本を読んでコーヒESHOPへ入ると今までと違った見方ができるでしょう。



商学部長
米田 邦彦



所 在：3階一般図書
請求記号：915.6/I57

井上ひさし 著
『ボローニャ紀行』
文藝春秋 2010

今回は手軽に読める、街づくりに係わる本を紹介します。企業の生産方式、産業発展やそれらを支える制度・政策は国や地域により異なりますが、イタリア・ボローニャのそれらはアメリカ流とは些異なるユニークなもので、疲弊したわが国の地方都市を再生するヒントになると考えます。例えば、企業・産業の育成について、筆者は「あることに熱中する人たちがいたら、彼らに資金を提供して、好きなようにやらせてみる。そして初めは小さかったパイをみんなで大きく伸ばして、事業にしてみようの」と説明します。どうでしょう、地域の勉強をしたくなりませんか？



経済科学部長
太田 耕史郎



所 在：3階一般図書
請求記号：404/I35

池内了 編
『「はじまり」を探る』
東京大学出版会 2014

大学生活のはじまりに、「はじまり」について考えるのも悪くないだろう。とは言っても本書で扱うテーマは、宇宙、生命、ヒト、農耕、神殿、言語など多岐にわたり、いずれもその「はじまり」はまだわかっていない。自分が関心をもったテーマに限ることなく、全てのテーマについて、なぜその「はじまり」を研究者は知りたがっているのか、疑問をどのように解こうとしているのかを、自分なりに理解しようと努めることを勧める。それが、「わかっていること」だけを教わるこれまでの態度から脱皮し、「わかっていないこと」を自分で考える真の教養人への第一歩となるだろう。



人文学部長
増田 尚史



所 在：3階一般図書
請求記号：913.6/H92

星 新一 著 新井素子 編
『ほしのはじまり 決定版 星 新一 ショートショート』
角川書店 2007

1997年に71歳で亡くなった星新一さんは、ショートショートと呼ばれる小説形式を得意とし、生涯にわたり1001編以上を発表したと言われています。初期の作品が発表されてから50年以上を経ているのですが、今、読み直してみても、ずっと星さんの世界に入り込めていけること、素晴らしいと思います。そして、そのシニカルでありつつ温かい世界観が自分の性格や価値観の形成に大きな影響を及ぼしたのだということを再認識しました。「人間」というものを軽妙に描いているショートショートの数々、ぜひその世界に触れてみてください。



人間環境学部長
三浦 浩之

図書館に行こう！ －図書館おすすめスポット－

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。広島修道大学図書館はリラックスして学習をしたり息抜きができるスペースを備えた、滞在型の施設となっています。今回は図書館2階のおすすめスポットを紹介します。番号順に館内を探索してみてください。

3 図書館ピアのおすすめ本



図書館では困った時に相談にのってくれる図書館ピアサポーターが活躍中です。本好きなピアの学生がおすすめする本を個性的で力が入ったPOPで紹介しています。

4 軽雑誌コーナー



日当たりの良い、ゆったりとしたコーナーです。『Hanako』や『Sports Graphic Number』など気軽に楽しめる雑誌が約30誌置いてあります。雑誌は貸出できませんので館内で利用してください。

2 新着図書コーナー



最新の情報を手に入れた人は要チェック！短期間で入れ替わりますので気になる本を見つけたら、すぐに借りることをおすすめします。

1 入館ゲート



本を借りたい時は2階カウンターで学生証と本を提示して下さい。

エントランスホールを上がって2階に図書館入館ゲートがあります。学生証をかざすと入館できます。

図書館からのお願い

一度本棚から出した本はもとの場所に戻さず、返却台か本棚横の黒い棚に置いて下さい。



図書館
2F

5 展示コーナー



テーマを決めて本を紹介するコーナーです。現在の展示は「新生活/はじめの一步」です。展示コーナーの本も貸出できます。

6 AV・リスニングコーナー



CDやDVDを視聴できます。フットスツール（足乗せ用ソファ）も設置されたリラックスできるコーナーです。空いているブースをご自由にお使いください。使い終わったら、CDやDVDは元の場所に返しましょう。

Library Information

info
1

展示コーナーについて

4月からの展示コーナーのテーマは、「新生活／はじめの一步♪」です。新入生のための各学部の入門図書、また新しく大学生活を始める皆さんのために、一人暮らしに役立つ図書や大学生活を応援する本を展示します。

同時に“趣味”に関する図書も展示しています。新年度に入り、何か新しいことを始めてみようと思っている方も多いのでは…!? 一度手にとって参考にしてみてください。

info
2

ブックハンティングのお知らせ

2015年度第1回目のブックハンティングのお知らせです。

ブックハンティングとは、図書館において欲しいと思っている本を、学生の皆さん自身に選んでいただく企画です。日頃、高価で手が出なかった本や就職活動、資格取得に必要な本を選ぶチャンスです。是非ともこの機会をお見逃しなく。皆さんの参加をお待ちしております。

日程は、7月上旬の予定です。詳しくは6月上旬ごろに図書館ホームページや図書館内のポスター、2階カウンターでご確認ください。



昨年度の様子

info
3

授業のある祝日の開館時間について

4月29日(水)は祝日ですが、授業日となっています。この日は図書館も平日と同じように、8時45分から21時30分まで開館します。

info
4

軽雑誌の入れ替えについて

2015年度より軽雑誌を一部入れ替えました。新しく、『Oz plus』・『Mr.PC』・『fine boys』・『Ray』・『ひとり暮らしをとことん楽しむ!』・『Dime』(2階新着雑誌コーナーより移動)の6誌が加わり、より一層皆さんに楽しんでいただける内容になっています。軽雑誌コーナーにはその他、ファッションや趣味に関するものなど幅広いジャンルの雑誌が揃っています。

勉強の合間の息抜きなどにお立ち寄りください。

※『ベストカー』・『MEN's NON-NO』・『non-no』・『モノ・マガジン』は購入を中止しました。

info
5

8号館に書庫ができました!

2014年度末に完成した8号館の地下1階に書庫ができました。図書館1階(雑誌書庫)にある洋雑誌は随時移していきます。ご不明な点などございましたら、職員、図書館ピア・サポーターにお尋ねください。

こんな本が
やってきました

No.37

『ビジュアル教養大事典』

デビッド・ワルチンスキー ほか 著
日経ナショナルジオグラフィック社



請求記号：033/Kn 5
所 在：2階参考図書

内容紹介

本書は、「青い惑星」「発見と発明」「社会生活」「心と魂」「芸術」「現代生活」の6つのテーマから構成された、あらゆる分野の情報を網羅した大事典です。1つの項目を1ページでコンパクトに紹介しており、異なる分野の知識が「どう関連しあうのか」「なぜそれが重要なのか」も解説されています。2000点を超えるカラー写真や図解が掲載されているため、事典としてはもちろん、読み物としても楽しめる内容です。
(本文より一部引用)

教養は何のために？

教養は「リベラルアーツ」とも言われ、昨今では大学におけるリベラルアーツ教育の重要性が叫ばれています。それは、教養が社会に出て生きていく上で大切な「考える力」の素地になるからです。大学は各自の専門性を磨く場ではありますが、同時に複数の学問に触れる機会も用意されています。その中で幅広い知識を身につければ、人生の様々な局面で物事を大局的にとらえ、自分にとって正しい選択をすることが出来るはずですよ。また何より、視野が広がり心が豊かになっていく喜びが得られるでしょう。本書を通じて、多彩な知の世界に足を踏み出してみませんか。

2階参考図書コーナーに行ってみよう！

図書館の2階には「参考図書コーナー」があります。ここには、目録や白書の他に、カラフルな写真・イラストが満載の図鑑や図録、年鑑など、一般図書とは異なる特徴を持った図書がたくさん配架されています。是非活用してみてください。
※参考図書コーナーの図書は貸出が出来ません。館内での閲覧をお願いします。

開館カレンダー

2015 4 APRIL							2015 5 MAY							2015 6 JUNE						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1*	2	3	4*						1	2*		1	2	3	4	5	6*
5	6	7	8	9	10	11*	3	4	5	6	7	8	9*	7	8	9	10	11	12	13*
12	13	14	15	16	17	18*	10	11	12	13	14	15	16*	14	15	16	17	18	19	20*
19	20	21	22	23	24	25*	17	18	19	20	21	22	23*	21	22	23	24	25	26	27*
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30*	28	29	30				
							31													

 休館日 (自由閲覧室利用不可)	 休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 21:30)	 休館日 (自由閲覧室利用可 8:45 ~ 19:00)
--	--	--

*講義のある期間は、日曜日でも開館します。

●開館時間

 開館時間 8:45 ~ 21:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	 開館時間 9:15 ~ 16:30 自由閲覧室 ☆8:45 ~ 19:00 自由閲覧室 ★8:45 ~ 21:30	 開館時間 10:00 ~ 16:00 自由閲覧室 10:00 ~ 16:00
 開館時間 9:15 ~ 12:30 自由閲覧室 8:45 ~ 19:00	 開館時間 9:15 ~ 17:30 自由閲覧室 8:45 ~ 21:30	 開館時間 10:00 ~ 17:00 自由閲覧室 10:00 ~ 19:00

●休館日

夏季・冬季・春季休暇中の日曜日・「国民の祝日に関する法律」に規定する休日（海の日・成人の日を除く）
開学記念日（11月4日）・年末年始（12月29日～1月3日）・整理休館日・入試期間中

※「国民の祝日」のうち、授業日は開館します。

※開館時間・閉館時間の変更や臨時休館日については、その都度、HPが掲示でお知らせします。



ここからもアクセスできます

返却期限の過ぎている
図書はありませんか？

忘れないうちに、
窓口がブックポストまで…。

発行・編集：広島修道大学図書館

■発行日：2015年4月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1

Tel: 082-830-1112 Fax: 082-830-1964

URL: <http://www-lib.shudo-u.ac.jp>

E-mail: toshio@js.shudo-u.ac.jp

次号は
7月1日
発行予定
です